

政策提言書

厚生文教委員会

令和4年11月8日に本市小・中学生の学力・人間力の向上を図ることを目的に、全国学力・学習状況調査で上位の石川県の学力向上の取組を図書館の活用の観点も踏まえて石川県白山市を視察して参りました。

「学校図書館支援センター」が、その名の通り、学校図書館を市立図書館が支援する事で、学校司書、教諭を通じた教育活動の中で読書を普及するネットワークを構築する中核的機能を担っていることが明らかとなりました。

学校司書の能力を最大限発揮する事を様々な領域でサポートしながら、子ども達に教育を施す教諭に対する意識づけを行い、子ども達が参加するイベントの実施まで行う事で、教育に携わる方々を図書で包括的にサポートする当該センターの存在価値は計り知れません。

読書活動を通じたさらなる学力・人間力の向上を図るため、下記1について政策提言いたします。

また、同年11月9日に、超高齢社会に対応できる地域包括ケアシステムの土台となるであろう日本版 CCRC (Continuing Care Retirement Community) で空き家や空き地等の社会課題にも対応しながら、子どもから高齢者、障がいや疾病の有無に関わらず全ての人々が共生できるまちづくりの先進事例の導入の可能性を検討する為、石川県輪島市を視察して参りました。

今回視察させていただいた「輪島 KABULET (カブーレ)」は、民間と行政が一体となって、点と点、線と線を結びつけ、面で地域住民の福祉を向上させながら、まちの活力を再生・向上させていく新たな日本版 CCRC を先進的に取り入れ、実践されてきました。この度の視察を通して、日本版 CCRC の更なる可能性を感じると共に、市役所も縦割りにとらわれない横断的な事業展開をしながら、官民連携の参加型のまちづくりを同時展開すべき時代に突入していることを、改めて実感させていただきました。

やがては日本のほとんどの地域で起こり得る複合的な地域課題を、面に対応する新たな日本版 CCRC の導入を図ることで持続可能なまちづくりを推進しながら、住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、「予防・介護・医療・生活支援・住まい」を一体的・継続的に提供できる地域包括ケアシステムを構築する為、下記2について政策提言いたします。

記

1. 図書館を活用した読書活動の推進による学力・人間力向上について

- (1) 学校図書館支援センターを設立又は当該機能を市立中央図書館に付加することで学校図書館、学校司書、教諭を通じた教育活動の中で読書を活用・普及するネットワークを構築すること
- (2) 学校司書の全校配置をめざすこと

2. 日本版 CCRC の導入であらゆる社会課題の解決モデルの構築について

- (1) 市内中学校区の中でモデル地区を指定し、その地区にある地域資源を利活用して拠点整備を行政が担い、その運営やそれ以外の施設の整備・運営については民間活力を導入し、波及させる、公設民営の日本版 CCRC の導入をめざすこと
- (2) 日本版 CCRC は横断的な政策推進が求められるプロジェクトとなるので、その調査研究を進める部局を指定し、導入に向けてさらなる研究を推進すること
- (3) 日本全国でも模倣しやすい低コスト型のモデル事業をスタートさせ、成功事例を創出しながら、市内の他の中学校区に展開していくスキームを構築すること

以上